

第120回 困ったときの自衛隊頼み？

IT生

今から10日ほど前、トカラ（吐噶喇）列島の地震で、住民の避難に関する記事を見ていて、少し気になったことがあった。地元から、全島避難の場合、自衛隊の支援要請をしたというのだ。県から自衛隊に要請があり、トカラ列島の避難以外に何もなければ、自衛隊も応じるかもしれないが、それも自衛隊の任務が生かされる必要があった場合のことである。だいたい島民の人口も有人の7島合わせても600人ていど、現在住民が避難をしている悪石島の全人口は89人。小宝島は66人である。

災害時には、自衛隊頼みというのは阪神大震災以降、日本人の頭に漠然と刷り込まれているといっていだろう。支援物資の配布や仮設風呂の提供などマスメディアの報道が「貢献」しているのだが、自衛隊の本分は、国土防衛と治安維持である。

政府（内閣官房）が今年3月に公表した、台湾有事の際の沖縄・先島諸島からの12万人の避難計画では、政府、住民を避難に送り出す行政と受け入れる行政が主体であって、自衛隊の支援については触れられていない。図上訓練には、自衛隊が参加しているが、それは、避難の際に現場が戦闘状態に陥ったときの対応のためだ。

対象者の人数把握	石垣市	宮古島市	竹富町	与那国町	多良間町
在宅の方	1,971名	3,392名	14名	11名	28名
高齢者・要介護者	690名	1,013名	2名	7名	28名
障害者(身体)	168名	387名	1名	3名	28名
障害者(知的・精神)	275名	1,120名	0名	0名	28名
外来人工透析患者	175名	140名	2名	0名	38名
在宅酸素患者	44名	115名	5名	1名	0名
在宅人工呼吸器使用患者	14名	24名	0名	0名	1名
妊産婦	605名	593名	4名	0名	0名
社会福祉施設などに入所の方	696名	659名	19名	0名	0名
	345名	531名	0名	0名	0名
計	7,111名	7,111名	21名	8名	76名

綿密に練られた、台湾有事の際の沖縄・先島諸島の避難計画

元自衛隊の防災研究者に聞いたところ、そもそも自衛隊の輸送手段に使われる、艦船や航空機、車両などは作戦実施の仕様であり、不特定多数の国民の移送手段には向いていないとか。われわれ国民は自衛隊に頼る前に、自衛隊についてもっと知る努力をすべきだろう。

トカラの避難をみていてもうひとつ腑に落ちないことがある。前述した、沖縄・先島諸島からの避難計画は、住民一人一人の生活事情を調べ、最適な輸送手段がねられているのに、トカラの避難では右往左往していることだ。なぜ、沖縄・先島の計画ほどの綿密さがいないのか？ このあたりにこれまでの日本の防災が抱える矛盾点があるのだからと考える。矛盾点を生んでいる原因は、防衛が政府主導で、災害対応は自治体主導である違いだろう。

この矛盾点を、他省庁に勧告権をもち、防災の司令塔たるべしとする防災庁が解消してくれると期待するのだが。発案者の行く末やいかに…。

(令和7年7月)